

## イシガレイの成長の回復

### ■成長の遅れの回復

4月の調査では過去2年と比較して成長の遅れが目立ち、平均全長が小さかった2012年と比較しておよそ80%の大きさであった（レポート70号参照）。しかし、今回の調査では2012年と比較しておよそ95%であり、成長の遅れが取り戻されてきているように思われた（Table.1）。また、先月の調査では干潟内で全く採集することができなかつたが、今回は採集することができ、干潟内にイシガレイが入り込んでいることが確認できた（Fig.2）。

なお、今回の調査では好天に恵まれたこともあり、これまであまり見られなかつた、水辺で遊ぶ家族連れや、海岸線を散歩する人の姿が見られた。

採集日	採集数	平均全長
2012年5月15日	30	5.00cm
2013年5月16日	42	5.14cm
2014年5月24日	34	4.76cm

Table.1 イシガレイの採集数と平均全長



Fig.1 採集したイシガレイ



Fig.2 イシガレイの採集地点（赤色の部分）

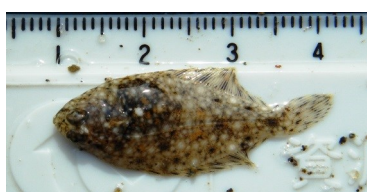


Fig.3 イシガレイ最小の個体(3cm)

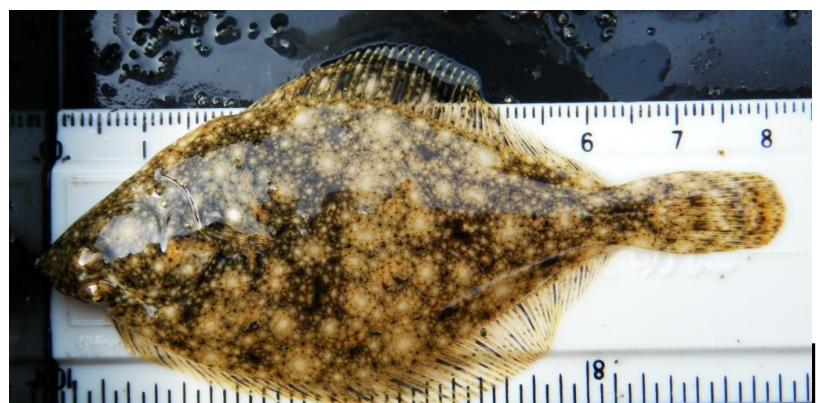


Fig.4 イシガレイ最大の個体(8cm)

(佐藤 賢治)